

パレスチナ自治区ガザ地区の平和の実現を求める決議

令和5年10月7日にイスラム組織「ハマス」のイスラエルに対する攻撃から始まった武力衝突も既に5カ月余りが経過している。これまでイスラエル及びガザ地区の双方で一般の市民や、ガザ地区においては子どもたちに多くの犠牲がでていることは誠に遺憾であり、これまで紛争の一時停戦と人質の一部解放が実現しているが、事態の完全終息には至っていない。

その中、国連総会はパレスチナ自治区ガザ地区の人道危機を受け、令和5年12月12日にガザ地区の情勢に関する緊急特別会合を開き、即時の人道的停戦を求める決議を採択した。

よって、平塚市議会は国連総会の決議に基づきガザ地区に侵攻を続けるイスラエルに停戦を求める他、国際法に基づく民間人の保護や、人道支援へのアクセス、無条件で人質の即時解放するとともにガザ地区の平和が早期に実現することを求める。

以上、決議する。

令和6年3月4日

平塚市議会